

# 令和 3 年度事業報告書 — 白楽荘・医務室 —

**テーマ**：自然災害や感染症対策により、入所者・利用者の安心・安全な望む暮らしの支援と  
地域住民と支え合う仕組みづくりを目指す

**サブテーマ**：多職種との連携・協働により安心できる看護、個別性のある看護を提供する

## 1. 安全で安心した生活を送れるよう健康管理を行う

- ①利用者の状態変化時は早めに家族に連絡、病状説明や意向を確認することで安心に繋ぐことができた。
- ②コロナ感染クラスター発生時には最小限の人数と業務内容で役割分担し、必要な医療・看護を提供した。また、保健所や感染管理認定看護師の指導の下、情報共有に努めケアの統一を図る事で感染拡大を防ぎ、早期収束に繋ぐことができた。今回の感染対応では、認定看護師による具体的な現場指導や入所施設で初めて抗体カクテル療法を懇願したことで、三国病院の Dr の協力の下、経験することができた。これにより BCP をより具体的なものにすることができた。
- ③科学的介護に基づく計画書では初期に必要な医療情報を提供し、定期的に見直している。

## 2. 個別機能訓練により A D L 維持、寝たきり予防に努める

- ①OT 指導の下、写真なども活用し統一したポジショニングを実施することができた。
- ②身体機能や A D L 状況を定期的を確認、アセスメントを実施した。また、日々の過ごし方についても聞き取りや確認を行い機能訓練に繋ぐことができた。

## 3. 働きやすく、魅力ある職場作り

- ① 日頃からコミュニケーションを取り、困りごとや相談などないか声掛けやアドバイスするなど配慮することができた。また、他職種への労いの言葉かけや協力に努めた。
- ② 伝達事項は書面に残すか、LINE を活用し情報の共有に努めた。

#### 4. 看取りケアの充実

- ① コロナ禍による面会制限の中、標準予防の感染対策を十分に行い、ご利用者がご家族とともに過ごす時間が持て、双方が安心できるよう支援することができた。
- ② 多職種連携によりご利用者の尊厳を重視し、最後までその人らしく過ごせるよう支援することができた。